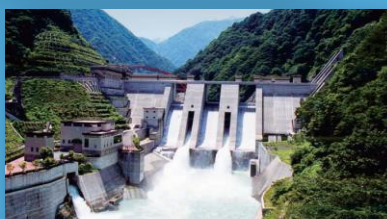




2026
国土交通省 北陸地方整備局

採用案内



北陸の未来は あなたの挑戦から



北陸地方整備局

国土交通省



北陸の未来は あなたの挑戦から

北陸地方整備局は「河川」、「道路」、「港湾・空港」、「官庁施設」等の社会資本(インフラ)の整備や維持管理を行っています。
各インフラの中でも大規模なもの、技術的に高度なプロジェクトを実施しており、「地域の皆様の暮らしの安全・安心」や、「地域経済活動」に欠かせない役割を担っています。
この地域で、未来に残るインフラ整備を一緒に進めていきませんか？

CONTENTS

05 - 06	北陸のビッグプロジェクト	18	インフラDXの推進
07 - 08	河川／砂防	19 - 20	防災(TEC-FORCE)
09 - 10	道路	21 - 22	プロジェクトサイクル
11 - 12	港湾・空港	23 - 24	若手職員のとある日常
13	都市・公園(まちづくり)	25 - 26	職員からのメッセージ
14	営繕	27 - 28	ワーク・ライフ・バランス
15	機械	29	人材育成
16	電気・情報・通信	30	キャリアステップ
17	管理／総務・経理／用地	31 - 32	入省について
		33 - 34	Q & A



国土交通省

北陸地方整備局

職員数約 1,900名(事務系約4割・技術系約6割)

- 総務部
- 企画部
- 建政部
- 河川部
- 道路部
- 港湾空港部
- 営繕部
- 用地部
- 統括防災官(防災部)

② 北陸地方整備局とは

8県という広大なエリアを、29の事務所・管理所、58の出張所等が各地域に密着してニーズを把握し、社会資本整備と維持管理への確に反映させる“地域の窓口”としての役割を担っています。

事務所

事業所の凡例 ● 河川・道路等 ● 港湾・空港

- | | | |
|---|---|--|
| <p>新潟県</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高田河川国道事務所 ② 羽越河川国道事務所 ③ 信濃川河川事務所 ④ 信濃川下流河川事務所 ⑤ 阿賀野川河川事務所 ⑥ 湯沢砂防事務所 ⑦ 長岡国道事務所 ⑧ 新潟国道事務所 ⑨ 三国川ダム管理所 ⑩ 北陸技術事務所 ⑪ 国営越後丘陵公園事務所 ⑫ 新潟港湾・空港整備事務所 ⑬ 新潟港湾空港技術調査事務所 | <p>石川県</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑭ 金沢河川国道事務所 ⑮ 能登復興事務所 ⑯ 金沢営繕事務所 ⑰ 金沢港湾・空港整備事務所 <p>山形県</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑲ 飯豊山系砂防事務所 <p>福島県</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑳ 阿賀川河川事務所 <p>長野県</p> <ul style="list-style-type: none"> ㉑ 千曲川河川事務所 ㉒ 松本砂防事務所 ㉓ 大町ダム管理所 | <p>富山県</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑱ 富山河川国道事務所 ⑲ 黒部河川事務所 ⑳ 立山砂防事務所 ㉑ 利賀ダム工事事務所 ㉒ 伏木富山港湾事務所 <p>岐阜県</p> <ul style="list-style-type: none"> ㉔ 神通川水系砂防事務所 <p>福井県</p> <ul style="list-style-type: none"> ㉕ 敦賀港湾事務所 |
|---|---|--|

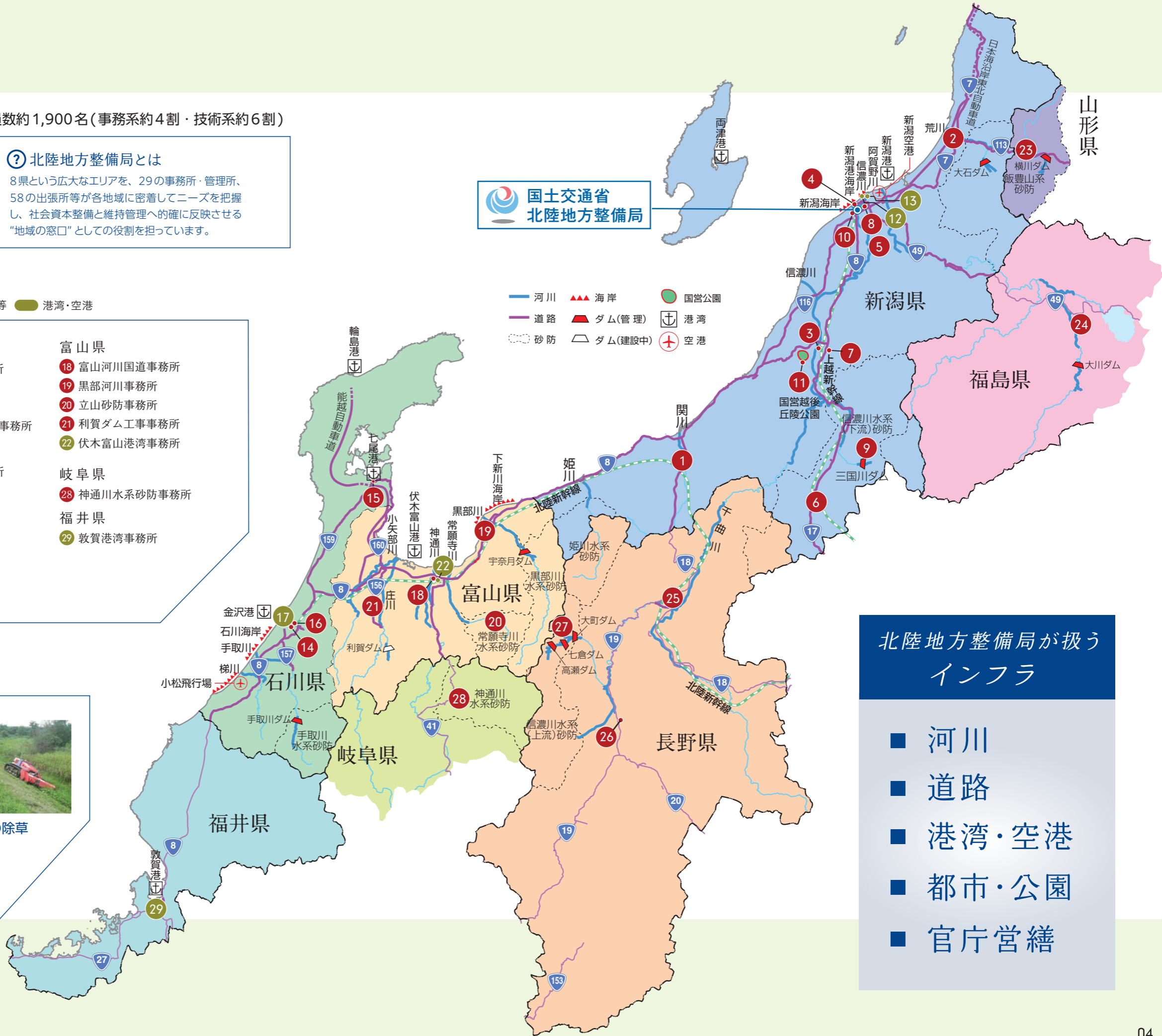
出張所



出張所 道路パトロール 河川敷の除草

② 出張所とは

より地域に密着して社会資本整備や維持管理を行うため、58の出張所等を各地域に配置しています。出張所には、パトロールや補修工事、許認可など維持管理を行う出張所や新たな事業のため工事等を行っている出張所があります。



北陸地方整備局が扱うインフラ

- 河川
- 道路
- 港湾・空港
- 都市・公園
- 官庁営繕

おおこうづぶんすいろ
大河津分水路【新潟県長岡市・燕市】



あさひあつみどうろ
朝日温海道路【新潟・山形県境】

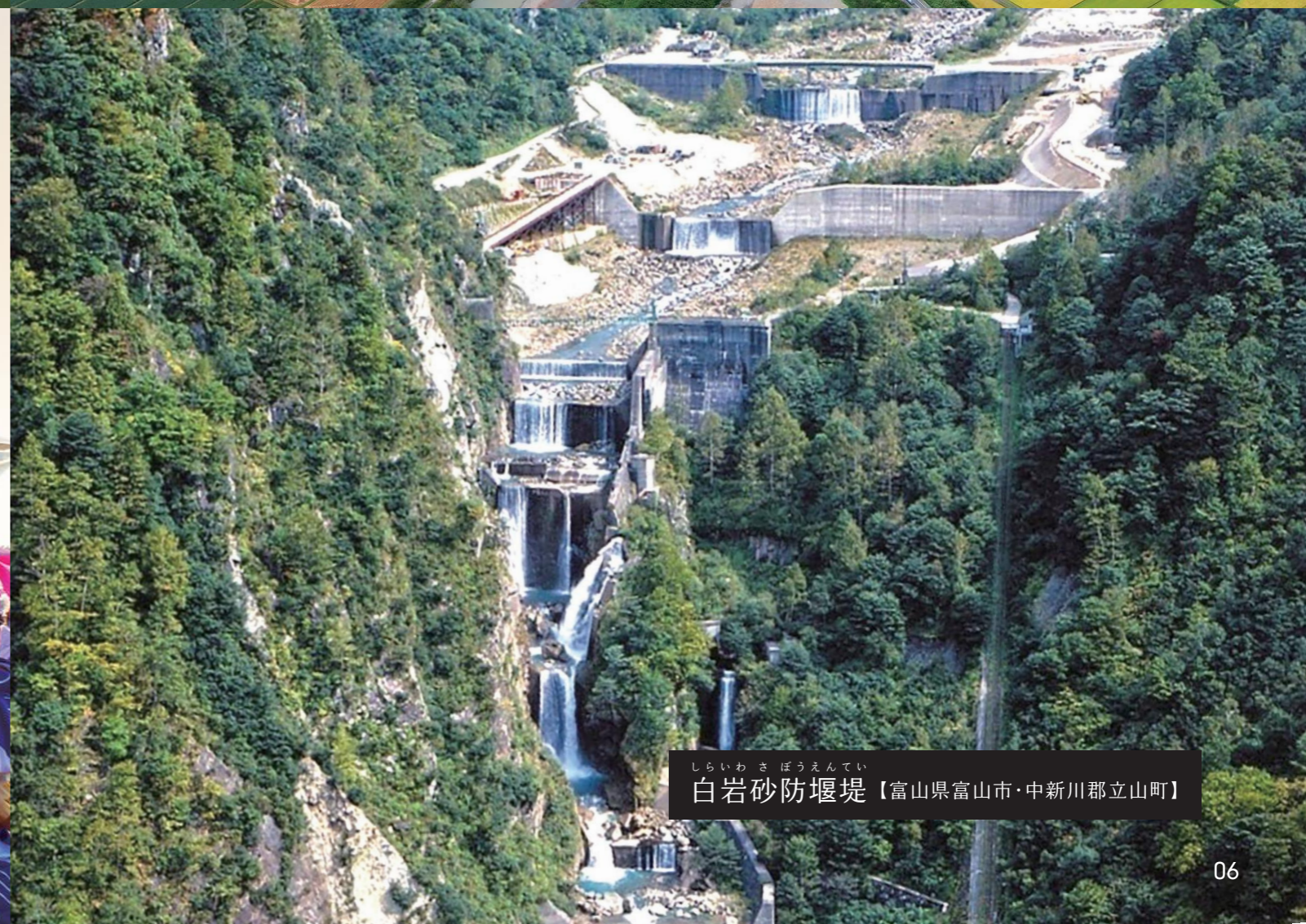


北陸のビッグプロジェクト

～北陸地方整備局では地域に不可欠な多様なプロジェクトを推進しています～



かなざわこう
金沢港【石川県金沢市】



しらいわさぼうえんてい
白岩砂防堰堤【富山県富山市・中新川郡立山町】

TYPICAL WORK

かけはしがわ
▶ 梯川の流域治水

梯川は、小松市を流域とした幹線流路延長42km、流域面積271km²の一級河川です。気候変動による水害の激甚化・頻発化に備えるため、国、県、市等が連携して、流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進しています。また、2022年8月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」をとりまとめ、引堤事業や河道掘削などの対策を実施しています。

北陸地方整備局の仕事 | 01

河川

に関わる仕事

未来の安全・安心をつくる

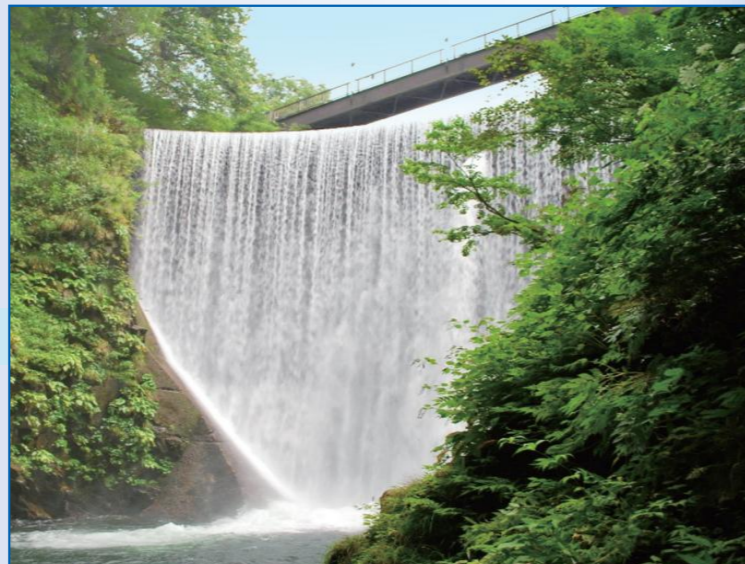
洪水や土砂災害などの自然災害から、地域の暮らしの安全・安心を守る河川事業。このうち、北陸地方整備局では国土保全や国民経済の点から特に重要な河川を担当し、地域で暮らす皆様の生命や財産等を守っています。

砂防 土砂災害から地域を守る “北陸地方整備局の砂防”

北陸地域は豊かな自然に恵まれている一方、急峻な地形、脆弱な地質を有しています。このような地形条件のもと、北陸地方整備局では、数多くの砂防事業を行い、豪雨による土砂流出から地域を守っています。

だいげん たがわ えんてい
▶ 大源太川第1号砂防堰堤

大源太川第1号砂防堰堤は、信濃川水系魚野川右支川大源太川に築造された、国の砂防事業として日本で最初に完成したアーチ式砂防堰堤です。流麗な線形と美しい石積みが特徴で、施設周辺は四季折々の景観を活かしたレクリエーション施設が集まる地域の観光拠点となっています。近年、老朽化箇所の補強が完了し、施設完成から80年以上経った今でも現役の砂防堰堤として下流の安心・安全に寄与し続けています。



海岸事業



↑ 石川海岸 (松任工区)

砂浜保全により海岸侵食や高波等の被害を防止し、背後地の住民や財産を守る海岸事業 (石川県白山市)

緊急治水対策プロジェクト



↑ 千曲川

令和元年東日本台風により甚大な被害が発生した千曲川。河川整備によるハード対策と地域連携によるソフト対策を緊急的に推進 (長野県長野市)

水辺のにぎわい創出



↑ やすらぎ堤 (ミズベリング)

新潟市中心部の信濃川河川敷で「ミズベリング」という、官民連携したにぎわい創出のプロジェクトを実施 (新潟県新潟市)

ダム事業



↑ 利賀ダム

富山県内を流れる庄川の洪水から地域を守るためのダム建設事業。3次元モデルの活用等、インフラDXの取り組みも推進中 ※完成イメージ図 (富山県南砺市)

VOICES FROM THE FIELD



技術 平成27年度採用

湯沢砂防事務所
調査課 調査係長

湯沢砂防事務所は、信濃川の支川の魚野川、清津川、中津川流域の砂防事業を行っています。私は砂防堰堤の配置計画検討や工事前の環境調査といった調査計画業務を担当しています。この地域は、平成16年の中越地震、平成23年の新潟福島豪雨など度々土砂災害による被害を受けています。砂防事業と聞いてあまりイメージがわからない方もいるかもしれませんが、砂防施設を整備することで、土砂災害から国民の生命・財産・生活・なりわいを守る重要な役割を担っています。地域の安心、安全に貢献できるよう責任感を持って業務に当たっています。



技術 平成30年度採用

信濃川河川事務所
計画課 企画係長

大河津分水路の改修事業を推進するための企画・調査を主に担当しております。大河津分水路では、地域を洪水から守るために川幅を広げるという大規模な事業を実施しており、その一端を担うことに責任とプレッシャーを感じます。一方で、地域の安全・安心の要となる河川事業に携わっていることに誇りも感じています。事業の着手から10年が経ちましたが完成に至るまでの道のりは長いので、これからも今の職務を果たしていけるように取り組んでいきたいと思っています。



技術 平成26年度採用

利賀ダム工事事務所
工務課 工務第一係長

利賀ダム建設事業の設計・工事発注を担当しています。利賀ダムは長い期間を経て令和6年度にダム本体工事が本格的に動き出し、令和13年度の完成に向けて工事が進んでいます。ダム建設事業はダム本体の工事のみでなく、関連する工事が多岐にわたり、トンネル工事や橋梁工事、貯水池法面対策工事など大規模な土木構造物を総合的に実施するやりがいのある事業です。ダムは治水や利水など多様な役割を担い、地域の生命・財産を守る重要な施設です。その一端を担えることに誇りを持ちながら、日々の業務に取り組んでいます。

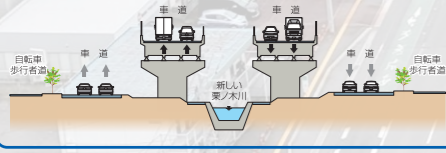
TYPICAL WORK

万代島ルート線
ぬったりくりのき しちくやま
(沼垂・栗ノ木・紫竹山道路)

万代島ルート線は、新潟バイパス紫竹山ICから中央区寄居町に至る全長約5.6kmの都市計画道路です。高速道路や新潟バイパスといった東西方向を結ぶ道路と、新潟市中心部を南北に結びます。

道路の整備により、慢性的な交通渋滞の緩和、安全性・快適性の向上、防災機能の強化、まちづくりの支援といった様々な効果が期待されます。

現在、栗ノ木道路と紫竹山道路の区間で工事が進められており、道路の立体化が最盛期を迎えています。



北陸地方整備局の仕事 02

道路

に関わる仕事

人・物・情報を 未来へつなぐ

人々の日常生活や物流に欠かせない道路。
北陸地方整備局は県と県をつなぐ、広域的な幹線道路の整備、維持管理という重要な役割を担い、地域社会の発展を支えています。

メンテナンス（更新）

いといがわ きょうりょう
系魚川地区橋梁架替事業

国道8号は糸魚川市内では日本海沿岸部を通過しており、日本海からの荒波の影響を直接受ける厳しい環境です。これまで補修を行ってきましたが、劣化が激しく補修に限界があるため、計画的に橋梁の架け替えを進めています。計画的な架け替えにより、国道8号はこれまで通り誰もが安心して利用できる道路として活躍していきます。（新潟県糸魚川市）

メンテナンス（維持管理）



↑新潟バイパス

日本屈指の交通量を処理し、新潟市の交通を支えている新潟の大動脈。日々欠かさず維持管理を実施。（新潟県新潟市）

VOICES FROM THE FIELD

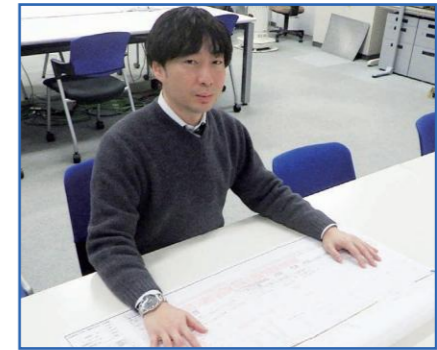


技術

平成24年度採用

新潟国道事務所
計画課
企画係長

万代島ルート線の事業計画や設計、予算の要求などを担当しています。新潟の交通を支える大動脈として東西方向を結ぶ「新潟バイパス」がありますが、南北の大動脈となるのが現在造っている「万代島ルート線」です。新潟の交通の流れを変え、新潟のまちが変わるビッグプロジェクトであり、その分仕事も大変です。ですが、自分のできることを一つずつ進め、将来自分が一利用者として完成した道路を通ったときに「あの時ががんばってよかったな」と思えるよう、業務にあたっています。



技術

平成21年度採用

道路部
道路工事課
改良係長

私は、道路整備に関する工事発注を担当しています。道路は人や物の移動を支える社会基盤であり、経済活動や地域の安全に直結する重要なインフラです。工事発注にあたっては、与えられた予算に基づき、発注規模を検討し、適正な工事価格を算出することが必要です。このような予算の効率的な運用を通じて、北陸の道路ネットワークの維持・強化に貢献しています。国の仕事ならではのスケールの大きさや、公共性の高い事業を進める点にやりがいを感じ、国民生活を支える使命感を持って取り組んでいます。



技術

平成30年度採用

富山河川国道事務所
高岡国道維持出張所
管理第三係長

私は富山県西部の国道8号、156号の維持管理を行っています。道路は、通勤や通学、物流など多くの人や物をつなぐ重要なインフラです。道路の維持管理は、誰もが毎日安全・安心に使える道路を守る仕事です。日々の道路パトロールで異常や落下物を見つけ、事故が起きないように早期に対応し、工事の際は工事監督として現場の安全や品質、進捗状況を確認しています。たくさんの人や物をつないでいる国道が当たり前に見えるのはこの仕事があるからこそ。国道を守り地域の暮らしを支えていることに、責任とやりがいを感じています。



事務

平成30年度採用

金沢河川国道事務所
道路管理第一課
占用係長

私は、道路管理者以外が道路に工作物を設置するための占用許可事務を担当しています。道路上には、電気・水道・ガスといったインフラ設備から、足場や看板など多種多様な占用物件が存在しており、中には地域活性化に寄与する物件や、人々がより快適で豊かな生活を送るために役立つ物件が多くあります。こうした占用物件に陥没や倒壊などの危険が生じることなく、安全に占用され続けられるために審査等を行うことは、大きな意義があり、やりがいのある仕事だと感じています。

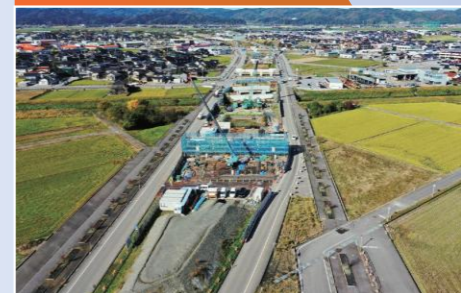
幹線道路ネットワーク整備



↑はちじょうりごえ
八十里越

新潟・福島県境部の通行不能区間の解消を目的とした道路事業。高度な技術を要する事業であるため、自治体に代わって国が整備を実施。（新潟県三条市～福島県南会津郡只見町）

幹線道路ネットワーク整備



↑ろっけ
六家立体

国道8号の高岡インター入口交差点周辺の渋滞解消を目的に、交差する県道高岡環状線の立体化を実施。国道8号の交通円滑化により、伏木富山港から産業拠点までの物流効率化が図られます。（富山県高岡市）

メンテナンス（維持管理）



↑さいがわ
犀川大橋

約100年前に架けられ、金沢市民に愛され続けている「犀川大橋」。適切なメンテナンスを行うことで、今も現役で活躍中。（石川県金沢市）



北陸地方整備局の仕事 | 03

港湾 空港

に関わる仕事

TYPICAL WORK

新潟港東港区国際海上コンテナターミナル

新潟港東港区国際海上コンテナターミナルは、本州日本海側で最大のコンテナ貨物取扱量を誇り、東アジア、北東アジア等の対外諸国と県内や背後圏地域を結ぶ物流の拠点となっています。現在は、船舶を波浪から守り安全な貨物の荷役作業を確保するため、防波堤整備等の機能向上を進めています。港湾の整備に伴い、背後に工場や企業が立地することによる新たな雇用の創出、クルーズ船寄港による賑わいの創出など、その波及効果は広域に及びます。

経済と暮らし、そして未来を支える「港」



↑ 伏木富山港

物流の拠点となる新湊地区北埠頭岸壁と陸上輸送の効率化に対応した臨港道路（新湊大橋）の整備（富山県射水市）



↑ 新潟空港

滑走路端安全区域の確保に係る各種施設の整備（新潟県新潟市）



↑ 敦賀港

複合一貫輸送ターミナルの整備による幹線輸送機能の強化（福井県敦賀市）



↑ 大型浚渫兼油回収船「白山」

八戸港で座礁した船から漏れた油を回収作業中の「白山」（所属：新潟港湾・空港整備事務所）

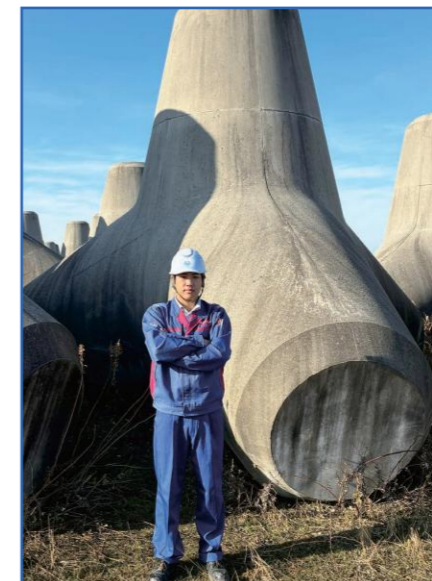
VOICES FROM THE FIELD



技術 令和元年度採用

港湾空港部 港湾事業企画課 技官

私は港湾の事業マネジメントや予算管理を担当しています。「港湾」は私たちの生活において直接的な関わりが少なく、馴染みがない方も多いかもしれませんが、しかし、四方を海に囲まれた日本にとって、港湾は食料やエネルギー資源など、暮らしに欠かせない貨物輸送を支える重要な役割を担っています。港湾空港部では、地域の経済活動と安全を守るため、新たな貨物の受け入れに伴う岸壁の整備や、船が安全に荷役を行うための防波堤の整備を進めています。地域からの要請に対し、大規模な事業を通じて応えられることは、国で働くことの大きな魅力だと感じています。



技術 令和6年度採用

新潟港湾・空港整備事務所 第二建設管理官室 技官

私は、新潟東港でカーボンニュートラルの鍵となる洋上風力発電を促進させるための基地港湾（発電設備の輸送・建設をする場所）整備事業の現場監督業務を行っています。わが国では脱炭素化社会の構築に向け、洋上風力発電をはじめとした海洋再生可能エネルギーの導入が期待されています。国で行う港湾インフラ整備は、多くの人々の暮らしを根底から支えることができるため、大きなやりがいを感じています。また、「未来の当たり前」を支える重要な重要かつ大きな挑戦に、当事者として携われることは、国の仕事ならではの魅力です。



技術 令和4年度採用

新潟港湾空港技術調査事務所 設計室 技官

港には、貨物を積んだ大きな船や豪華客船が行き交い、人々が交流している空間が広がっています。私は港湾施設の設計を担当しており、設計に携わった施設が利用されているのを目にすると、自分の仕事が日本の経済や物流を支えているのだと実感します。最近では、能登半島地震で被災した港の復旧設計業務が中心となっています。災害から立ち上がるための力になりたいという思いで土木の道を進んで来て、港湾空港部でそれが実現しました。私たちが担うのは、国を支える力・国がまた立ち上がる力の一部になれる、そんな仕事です。ここまで読んでくださったあなたの挑戦を待っています！

地域を支える、日本を支える北陸の港湾

北陸と世界を繋ぎ、北陸の成長・発展を支えています。

原材料、生活物資、食料、製造品の輸出入等、我が国の貿易量の99.6%を占める港湾。国内外からの空の玄関口である空港。海上輸送網の拠点となる港湾、航空輸送網の拠点となる空港の整備等を担当し、北陸地域の経済と暮らしを支えています。

➡ 金沢港

大型クルーズ船寄港に対応した岸壁の整備（石川県金沢市）



だれもが住みやすい 「まち」づくりを“支援”

だれもが快適な生活を送るため、中心市街地の空洞化対策や良好な住宅の供給、バリアフリーなど、様々なまちづくり活動の支援を行っています。また、建設業や宅地建物取引業等の健全な発達のための指導、監督業務を行っています。

都市・公園

に関する仕事



TYPICAL WORK
① 国営越後丘陵公園 (新潟県長岡市)

営繕

に関する仕事



TYPICAL WORK
① 新潟美咲合同庁舎1号館、2号館
北陸地域の防災拠点として整備された(新潟県新潟市)



① 金沢城公園
(石川県金沢市)



① 富山駅南北接続事業
(富山県富山市)



① 発酵ミュージアム 米蔵
(新潟県長岡市)

時代のニーズに対応した、公共建築

国土交通省では、国の行政機関が入居する「官庁施設」のほか、除雪車両を格納する「除雪ステーション」、道路利用者の休憩と地域振興が一体となった「道の駅」など、多様な公共建築物を整備しています。災害時には、利用者の安全確保だけでなく、地域における災害応急対策活動の拠点施設や避難施設など、防災拠点としての機能も担います。



① 若手職員研修風景

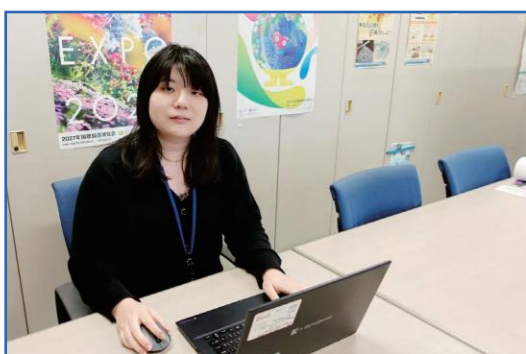


① 新潟地方検察庁三条支部
(新潟県三条市)



① 下越森林管理署村上支署
(新潟県村上市)

VOICES FROM THE FIELD



技術 平成27年度採用

建政部 都市・住宅整備課 企画調査係長

都市・住宅整備課では、自治体が進めるまちづくり、住まいづくりを交付金・補助金制度の活用を通じて、国の立場から支援する業務を行っています。現在私は、都市整備や公園整備に係る全般的な内容を担当しており、国土交通省都市局で発信される情報や全国

のまちづくり事例を基に、自治体が目指すまちづくりの実現に向けた助言や橋渡しをしております。自治体と直接やりとりした建物や空間が実現するなど、まちづくりの発展を肌で感じることができ、やりがいのある仕事と感じています。



事務 令和6年度採用

建政部 計画・建設産業課 事務官

私は、建設業者が建設業を営む際に必要となる建設業許可や、公共工事を直接請け負うために必要な経営事項審査、立入検査などの業務を担当しています。申請された書類を確認し、業者によって審査内容や判断に差が生じることをのこさないよう、常に公平性を意識して審査を行っています。国の制度に基づいて業務を行うことで、建設業界が安心して活動できる環境を支えていると感じています。社会基盤を支える仕事であることに責任とやりがいを感じ、人々の暮らしに関わっているという意識を持って、日々業務に取り組んでいます。

VOICES FROM THE FIELD



技術 令和4年度採用

営繕部 保全指導・監督室 技官

私は設計担当や現場監督として、北陸地域の官庁施設の新築や改修に携わっています。担当している施設は一般的な事務庁舎だけでなく、裁判所や海上保安署などの特殊な用途の施設もあり、日々仕事の中で新たな発見や学びがあります。能登半島地震で被害のあった施設の新築設計も担当しており、微力ながら地域の復興に携わっていると感じています。官庁施設は、働く人、訪れる人、高齢の方や障がいを持つ方など、様々な人に何十年間も利用いただく建物です。多くの人が快適で安全に利用できる建物をつくることを意識して仕事に励んでいます。

機械

に関わる仕事

地域の安全・安心な暮らしを「機械」で支える

河川、道路の機能を発揮するために必要な機械設備・建設機械や災害対策用機械の整備と運用管理、建設事業の施工技術開発・支援を行い、安全で安心な住みよい地域社会の実現に貢献します。

新潟県湯沢町での除雪作業



VOICES FROM THE FIELD



技術

平成28年度採用

長岡国道事務所 防災情報課 管理第三係長

道路の維持・管理に使う除雪機械や維持用車両などの建設機械のメンテナンスを行うほか、消融雪設備などの道路施設の整備を担当しています。新潟県中越地域は、日本有数の豪雪地域を抱える雪国であり、冬期における道路交通の確保と地域住民の安全安心な生活を支えるためには、除雪機械や消融雪設備の確実な機能維持が不可欠です。これらの設備や機械

が適切に機能しなければ、通勤通学や物流などの日常生活に大きな支障をきたす恐れがあります。そのため、機械職員として、日頃から設備の状態を的確に把握し、必要な維持管理や更新を行うことが重要な役割であると認識しています。このように地域の暮らしを支える重要な業務を担っていることに責任と使命感を持ち、日々の業務に取り組んでいます。

TYPICAL WORK

技術開発

現場における技術的課題の解決や、作業の効率、安全な施工などに対応するため技術開発に取り組んでいます。開発した技術は、保有する建設機械や運用するためのシステムとして活用しています。



↑除雪作業装置の自動制御イメージ
—除雪トラックの自動化—
車両位置情報を利用した作業装置の自動化技術を開発し、作業員の負担軽減と作業の効率化を図りました。



↑ロータリ除雪車



↑排水ポンプ車



↑新潟大堰 (新潟県新潟市)



↑宇奈月ダム (富山県黒部市)

建設機械の整備

河川、道路の維持管理に必要な建設機械を保有しています。確実、効率的な運用を行うため、建設機械の配備計画を策定し、必要な整備の検討、適切な点検整備を行っています。

機械設備の整備

河川、道路の土木構造物と一体となって機能を発揮する機械設備(河川・ダム用ゲート設備、消融雪設備等)の新設、維持管理、更新を行っています。

電気・情報・通信

に関わる仕事

社会インフラを支える情報通信ネットワークを形成

河川や道路等の安全で安心な利用のため、情報通信技術を用いたネットワークや情報システムの整備、運用、維持管理をします。災害が発生した場合には、衛星通信車等の災害対策設備を駆使し、迅速な対応に寄与しています。

大川ダム操作室 (福島県津若松市)



VOICES FROM THE FIELD



技術

平成29年度採用

富山河川国道事務所 情報技術課 電気情報係長

国土交通省と電気・情報通信...ピンとはこないですね。まずは電気です。職員が働く庁舎の電気設備、非常用発電設備や道路照明などがあります。次に情報通信です。光ファイバーケーブルを河川・道路沿いに敷設し、高速大容量の通信網を全国に構築しています。さらに、災害に強い無線通信網も全国に構築していま

す。そして、CCTVカメラ、テレメータ、道路情報板など情報通信技術を活用した様々な設備もあります。私たちはこれらの整備・点検・運用をしています。平常時でも災害時でも日本全国を通信で結び、電源を確保し、情報を提供することで安全・安心な社会を支える仕事に、私は魅力を感じています。

TYPICAL WORK



↑受変電設備の点検

安定的な電力供給

通信機器や河川、道路、ダム等の施設へ安定的に電気を供給するための設備や、車の安全な走行に欠かせないトンネルや橋の照明等を整備点検しています。

的確な情報提供

河川、道路、ダム等を適切に管理するために、様々な機器を用いて情報収集を行っています。集められた情報は地域住民や施設利用者にも提供しています。



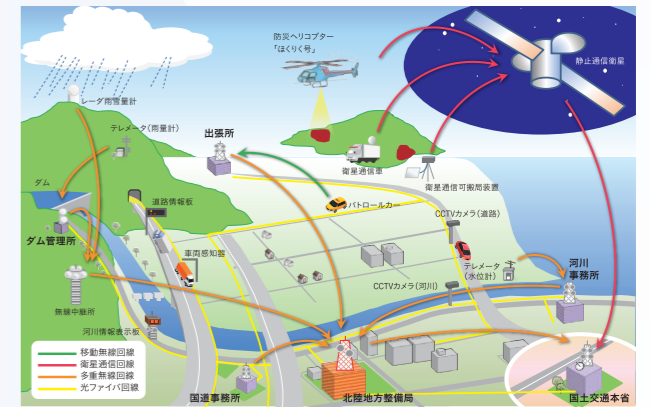
↑ヘリコプター映像伝送装置

迅速な災害対応

災害発生時には機動力のある通信システムで、災害現場等の情報を迅速に把握し、国土交通省内はもとより、地方自治体にも映像等を伝送し、的確な災害対応を可能にします。



↑道路情報板



強固な情報通信ネットワーク

全国の国土交通省の拠点や都道府県さらに防災関係機関を多重無線回線と光ファイバ回線でネットワーク化し、情報を確実に伝送する通信網を構築しています。



↑聖高原レーダ

事務官の仕事

管理 に関わる仕事

国が管理する河川・道路・海岸などの保全と安全を図るため、河川敷地・道路・海岸保全区域の利用や占用に対して問題ないかを審査する「許認可手続き」業務などを行っています。道路などを新しく整備する際には管理区域の変更や供用手続きといった業務も行います。現地立ち会いやパトロールなど現場に赴く機会も多い仕事です。



事務 令和4年度採用
信濃川河川事務所
占用調整課
事務官

信濃川河川事務所では新潟県内を流れる信濃川中流域を管理しており、私は河川利用の許認可事務を担当しています。河川に橋を架けたり、河川敷に公園を造るといった場合には、河川管理者の許可を受ける必要があります。許可を受ける際には「許可申請書」を申請者から提出してもらう必要があり、その受付・審査、許可書の発行までを行っています。業務では様々な法令や技術的知識が必要となり悩むこともありますが、同僚や上司と相談しながら進められ、学びが多くやりがいのある仕事だと感じています。

総務・経理 に関わる仕事

「総務」には、給与計算、福利厚生、庁舎管理など、北陸地方整備局で働く職員の処遇や職場環境に関する業務などがあります。「経理」には、工事を発注するための契約業務、備品等の購入をするための契約業務、国の建物などの財産を管理する業務、工事代金の支払いなど多額な予算執行に関する業務などがあります。



事務 令和元年度採用
羽越河川国道事務所
総務課
事務官

事務所において債権や国有財産・物品管理など幅広い業務を担当しており、国の円滑な事業推進のための基盤を支えています。例えば物品管理では、庁舎内の備品から工事用の機材、車両などの資産を適切な状態で保管し必要な時に使えるよう、購入から廃棄まで一貫して管理しています。国の重要な資産を扱っているという重みを常に意識し、さまざまな法令やルールを遵守しながら誠実な仕事を心がけています。目立つ仕事ではありませんが、信頼される行政運営を裏側から支えている、という意識がやりがいにつながっています。

用地 に関わる仕事

公共事業に必要な土地の取得等とそれに伴う損失の補償を行うため、事業計画の説明、補償対象（土地や建物）の調査、補償金の算定、権利者との交渉、補償契約の締結、登記、補償金の支払い等、一連の手続きを行っています。補償金の算定に必要な基準は、公共事業を進める地方自治体に対しても、研修等を通じて説明・指導しています。



事務 令和6年度採用
新潟国道事務所
用地第二課
事務官

私は国道116号の用地取得事務を担当しています。用地取得は公共事業で必要となる土地を地権者からお譲りいただく業務であり、事業を進めるためのスタートラインとなるものです。ご協力いただくためには、地権者との信頼関係を築くことが欠かせないため、誠意を持った対応を心がけて仕事に取り組んでいます。お譲りいただいた土地が開通に向けて一歩ずつ進んで行く様子を間近で見られることに、大きなやりがいを感じています。



インフラDXの推進

インフラDXとは、データとデジタル技術を活用して、国民のニーズを基に社会資本や公共サービスを変革することです。業務そのものや、組織、プロセス、建設業や国土交通省の文化・風土や働き方を変革し、生産性の向上や働き方改革を通じて「安全・安心で豊かな生活」の実現を目指します。

● 工事現場のDX活用例

> 3Dプリンタで排水構造物を施工



- 従来の現場打ち工法よりも、工期は半分以下に短縮。
- 省人化も可能となり、職人が不足する災害現場等で活躍
- 排水の流れがスムーズになるような複雑な形状も施工可能

> 県外から無人の重機を遠隔操縦



- 危険な現場を無人施工で安全性確保
- 室内の操作でオペレーターの労働環境向上
- 災害現場等で不足するオペレーターの確保に貢献

● DX技術の普及

> DX技術が体験できるイベントの開催



地元建設会社、地元自治体、地元高校生等が体験

> DX技術研修の開催



施工技術者や発注者（職員、自治体関係者）が受講して、DX技術を習得

● 職場にもDX技術が浸透しています！

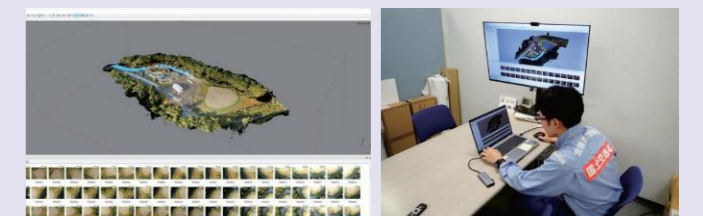
北陸地方整備局で開催するDX研修で習得したスキルや生成AIを活用して、国営越後丘陵公園「ながおかアーバンバイクパーク」の3Dモデルを作成&HP公開しました。

STEP1：飛行計画作成、撮影



研修で習得！ UAVの飛行する高度、速度、ルート等を設定し、実際に現場で撮影

STEP2：3Dモデルの作成



研修で習得！ 生成AI活用！ 解析ソフトを使って空撮写真から3Dモデルを作成。3Dデータの後処理方法は生成AIを活用して習得

STEP3：作成した3DモデルをHPで公開

完成!!

生成AI活用！ HP公開するためのプログラミングコードを生成AIで作成



作成したHP ※Wi-Fiでの閲覧推奨

```

1 <title>HP</title>
2 <meta lang="ja">
3 </meta>
4 <meta charset="utf-8" />
5 <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1" />
6 <title>HP</title>
7 <script>
8   (function() {
9     const body = document.querySelector("body");
10    body.style.backgroundColor = "#f0f0f0";
11  })();
12 </script>
13 </pre>

```



「北陸インフラDX人材センター」でインフラDXの見学・体験が可能です。詳しくはHPをご覧ください。



国土交通省
TEC-FORCE
Technical Emergency Control FORCE

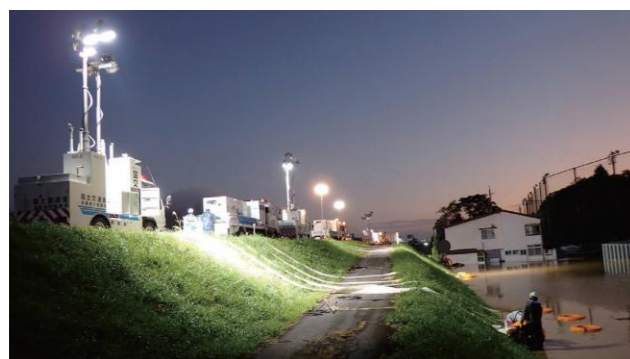
防災 TEC-FORCE

迅速な対応が求められる、地震や豪雨などの大規模自然災害。常に備えを万全にし、発生した場合には、迅速にTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)が出動。被災状況の把握、社会基盤施設の復旧、二次災害の防止に努めます。



> 緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE)とは

大規模な自然災害等に際して、被災状況の把握、被害の発生・拡大の防止、被災地の早期復旧
その他災害応急対策に対する技術的な支援を行います。
隊員は、専門的な知識や現場経験を有した全国の国土交通省職員で構成されており、北陸地方整備局からも多くの職員が任命され、活躍しています。



技術 昭和62年度採用 防災部 防災室 室長



防災室・災害対策マネジメント室では、災害発生時に災害対策本部の運営を行うとともに、一般被害を含め所管施設等の被災情報を収集する初動対応やTEC-FORCE隊の派遣調整・指揮命令を行っています。また、隊員の訓練研修や災害査定窓口等の業務、さらに整備局職員の防災対応能力の向上を目的に、様々な訓練の企画・運営や関係機関や建設業等の災害協力団体との連携・強化に関する調整なども行っています。最近の災害では、TEC-FORCEの活動に対し、被災自治体や住民の皆様がその活動に期待しており、その期待に応えるべく、日々体制を整えています。昨今の気候変動も影響してか自然災害が頻発化・激甚化する中、日頃の業務を通じて培った職員の技術力が被災地においても不可欠となっています。私自身も、熊本地震や令和元年東日本台風、令和6年能登半島地震等に被災状況調査班班長として従事し、TEC-FORCE活動がいかに被災自治体や住民の皆様役に立っているかを肌で感じてきました。私たちは地域の生命・財産を守り、復旧・復興に全力を注ぐ任務に誇りを持っています。



令和2年7月豪雨
砂防の被災状況調査(熊本県山江村)



令和2年12月雪害
除雪車による除雪支援(関越自動車道)



令和6年能登半島地震
道路の被災状況調査(石川県輪島市河井町)



令和6年9月の豪雨災害
河川の被災状況調査(石川県珠洲市)

令和6年能登半島地震及び9月豪雨災害からの復旧・復興

北陸地方整備局は能登半島地震、9月豪雨災害からの1日も早い復旧・復興に向けて、事業を進めています。工事進捗や現場紹介、奥能登の魅力発信をしているので、ぜひのぞいてみてください!



Web page	X
復旧・復興の進捗情報	復旧・復興の今を発信
YouTube	Instagram
若手職員による現場紹介	現場から見える奥能登の魅力



能登復興事務所の職員

--	--	--	--



仕事繋がり、プロジェクトは進む。

プロジェクトの企画・構想段階の検討から、施工、その後の維持管理まで、全てのフェーズに関わることができます。多様な経験を積むことで職員はスキルアップしていきます。



事務系 令和4年度採用
金沢河川国道事務所
用地第二課
事務官

私は用地取得に関する事務全般に携わっています。具体的には用地測量や物件調査を委託する業務や、土地評価、補償金の算定、契約手続き、補償金の支払いなど多岐に渡ります。デスクワークだけではなく、土地所有者の元へ補償の説明に伺ったり、現地確認のため現場に出ることも多いです。補償内容の説明から補償金の支払いまでの一連の手続きが滞りなく完了したときには達成感があります。用地事務では税務関係や登記など様々な知識が必要になるので学ぶことが多いですが、その分やりがいを感じています。



事務系 令和5年度採用
富山河川国道事務所
経理課
事務官

私は経理課の職員として、道路や河川等の工事・コンサル・役務の契約事務を担当しています。契約業務では、電子システムを介した様々な入札・契約方式で発注から契約締結及び支払いまでの手続きを行っています。また、法令や制度に基づく公正な入札と、適切な契約事務を通じて公共事業の信頼性と透明性を支える重要な役割を担っています。自分の担当した工事等が形となって地域に残り、社会に貢献できるやりがいを実感しています。



技術系 令和6年度採用
羽越河川国道事務所
村上国道維持出張所
技官

私は現在、道路の維持出張所にて、道路パトロールや道路工事の監督補助に従事しています。道路パトロールでは、道路の危険箇所や損傷箇所をいち早く発見し、落下物の撤去や必要な補修作業を行うことで、道路の安全確保という重要な役割を担っています。維持出張所が担当する工事は、舗装、橋梁、トンネルなど多岐にわたります。完成した道路や構造物は老朽化のため、適切なメンテナンスと修繕が不可欠です。幅広い知識が求められる仕事ですが、工事受注者や出張所職員と協力し、工事が完了したときの達成感がこの仕事の面白いところです。何よりも、日々の業務を通じて国道の維持管理に携われることに大きなやりがいを感じています。皆様が安心・安全に道路を利用いただけるよう、日々の業務に取り組んでいます。

START 地域の声・ニーズ



技術系 令和3年度採用
長岡国道事務所
計画課
技官

私は、国道の調査計画を担当しています。交通渋滞や災害リスクなど、地域が抱える課題を把握し、将来必要となる道路の姿を描く仕事です。様々なデータや地域を集めて「どんな道路にすればいいか」を考えると同時に、時には、「道路」から地域を盛り上げるにはどうしようか!なども考え、カタチにすることが、この仕事の魅力だと思っています。道路は、ただ移動を支えるだけでなく、地域の暮らしを支え、つなぎ、活性化する存在だと私は考えています。みちづくりの最上流で人々の日常を支える仕事に責任とやりがいを感じ、日々業務に励んでいます。



技術系 令和2年度採用
伏木富山港湾事務所
保全課
技官

私は、富山の港湾整備に関する発注業務に携わっております。工事を契約するためには、品質や性能、施工手順等を具体的に施工者へ伝えるための特記仕様書や、施工範囲等を示した発注図面等の発注資料を作成し、その発注資料に基づいた工事費用の算出も行います。これらの発注業務は、小さなミスが大きな費用の差になるため緊張感もありますが、設計や積算基準などの資料を熟読して正確な資料を作成し工事が無事完了したときには達成感があります。大規模工事の内容を把握し適正に発注を行うため、日々学びながら責任感を持って発注業務に励んでいます。



技術系 平成26年度採用
千曲川河川事務所
工務課
工務第二係長

私は工事の発注管理、積算内容の確認・精査、発注後の施工業者との施工内容・方法の調整業務に携わっています。令和元年東日本台風の被害を受け、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を策定し、このプロジェクトの1つである堤防・護岸や河道掘削、遊水地などの河川整備を計画的に進めるために、工事発注から完成まで円滑に進むよう、所内・施工業者との打合せや検討を行っています。大きな責任が伴う業務ですが、将来自分が携わってきた工事が、災害に対して地域の方々の安全・安心な暮らしに資するためにも、やりがいと使命感を持って取り組んでいます。

北陸地方整備局の職種

- 土木系**
 - 河川・道路・港湾・空港・公園等の調査・計画・施工・管理 など
- 機械系**
 - 災害対策用機械の開発・導入・運用
 - 機械設備(ダムゲート等)の維持管理 など
- 電気系**
 - 通信設備(衛星通信・光回線・無線回線)整備・管理
 - カメラ映像、雨量情報の提供 など
- 建築系**
 - 官庁営繕施設、土木営繕施設(道の駅)等の整備 など
- 事務系**
 - 総務、福利厚生、経理、契約に関する業務
 - 事業用地に関する業務
 - 河川・道路の各種許可等に関する業務 など

若手職員 の

とある日常



01

入省して3年間、様々な業務を経験することができました。今後も沢山のことを学び、自分自身の成長に繋げていきたいです。



総務部
総務課
事務官

事務 令和5年度採用

ONE DAY

02

インフラ整備を通して地域に貢献できることにやりがいを感じています。日々の仕事に励み、知識と経験を積み重ねていきたいと思っています。



新潟港湾・空港整備事務所
両津港出張所
技官

技術 令和5年度採用

ONE DAY

03

地域で採用していただき、地域に貢献できていると感じています。災害に強く、安心して暮らせる地域づくりのため、今後も様々な事業に取り組んでいきたいです。



金沢河川国道事務所
流域対策課
技官

技術 令和6年度採用

ONE DAY

04

日々成長を実感できる温かい職場です。一緒に働けるのを楽しみにしています！



高田河川国道事務所
道路管理第一課
事務官

事務 令和4年度採用

ONE DAY

8:20 出勤
始業の時間までに、その日に行う業務を確認しておきたいので、10分前には出勤できるよう心がけています。



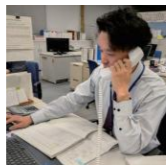
8:30 始業
業務開始。まずは契約に関わる書類作りから始めます。



10:00 庁舎施設不具合発生
庁舎内の暖房が動かない、という報告を受けたので、現況を確認します。専門の業者に来ていただく必要があるため、正確に症状を把握しなければなりません。



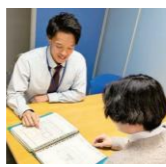
10:15 業者に連絡
業者に連絡し、修理に来ていただくよう依頼します。庁舎の不調は働いている職員の健康被害に繋がる恐れがあるため、迅速な判断・対応が求められます。



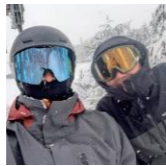
12:00 昼食
昼食は基本自席で食べています。お昼休憩では本を読んだり、音楽やラジオを聴いたり、とても自由に過ごしています！



14:00 打合せ
総務係は課内や他課、業者との打合せが沢山あります。日々の業務について、どのように仕事を進めていくか、打合せを行った上で方針を決めていきます。



18:00 退庁
少し残業して本日の業務は終了です。退庁後は職場の人を誘ってご飯に行くこともあります。休日に遊ぶことも！



8:30 出勤・始業
出勤したらまずはメールチェックを行い、やるべきことをリストアップします。



9:00 打合せ
受注者と打合せを行います。これから着手する工事について、施工方法や工程に問題が無いか確認しました。



10:30 現場立会
受注者が適切に施工しているか確認するため、工事監督を行います。直接現場に赴いて監督することもあれば、WEBカメラを用いて遠隔で行うこともあります。



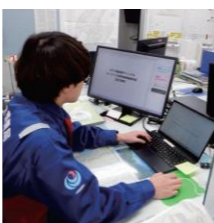
12:00 昼食
先輩と雑談をしながらお弁当を食べます。



13:00 安全パトロール
工事は安全が何よりも大切です。事故を未然に防ぐため、発注者と受注者が合同で現場の点検を行います。



15:00 資料作成
仕事を進める中で、発注時の契約内容から数量の変更が生じたり、工種を追加したりすることがあります。出張所では契約変更の内容を確認させるために必要な資料を作成します。



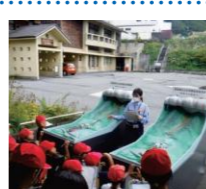
17:15 退勤
明日やるべきことをまとめたら退勤です。夕飯は両津港近くにある飲食店で佐渡の美味しい魚を食べました！



8:30 始業
広報活動用の持ち物を確認し、事務所を出発します！現場へは片道1時間30分ほどかかります。



10:00 広報活動
小学生のみなさんに砂防事業の役割をご説明します。私は白山砂防特派員と一緒に模型実験を説明し、砂防堰堤の効果を見てもらいます。



12:00 昼食
現場付近のお店で昼食を食べ、デザートでアイス補給します！



15:00 受注者と打合せ
事務所へ戻ってから打合せです。業務の進捗状況を確認し、今後の進め方について話し合います。



16:00 デスクワーク
メールを確認したり、発注・変更する業務の資料を作ります。最初は使い方が分からなかったシステムにも慣れてきました！困った時は係長や先輩に質問すると、みなさん優しく教えてくださいます。



18:00 退庁
少し残業し、本日の業務は終了です。退庁後は、習い事や、マイブームの編み物を楽しみます！1日お疲れ様でした☆



8:30 出勤
家から事務所まで車で10分ほど。



9:00 道路パトロール
国道8号の道路パトロールを行います。落下物や道路に異常がないかを確認します。異常があれば停車し、落下物回収や道路の穴埋めなどを行います。



12:00 昼食
同じ事務所の若手職員とお弁当を食べます！最近の話題はカフェ巡りです。



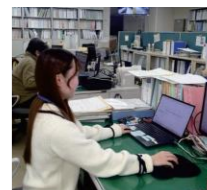
13:00 課内ミーティング
週に1回課内ミーティングを行い、それぞれの仕事の進捗状況などを共有します。私は今後発注予定の案件について、スケジュールの共有をしました。



15:00 WEB打合せ
WEBで関係機関と打合せを行います。大画面で資料を共有します。特に大雨や大雪の時は気象予測などを共有し、今後の動きを関係機関と確認します。



16:00 議事録作成
パソコンの文字起こし機能を活用し、打合せの議事録を作成します。記録を残すことも大切な仕事です。パソコンの機能は最大限活用し、業務を効率化しています。



17:15 退庁
退庁後は大好物のラーメンを食べに行きます！大雨や大雪時には、定時に帰れないこともあります……



Message from staff

職員からのメッセージ



入省のきっかけや就職してからの楽しかったこと、やりがいなど、みなさんからよく聞かれる質問について、北陸地整で活躍する若手職員にインタビューを行いました！公務員を目指す皆さんへ向けたアドバイスもありますので、ぜひ参考してみてください。

Q 北陸地方整備局に入省したきっかけ

事務 令和5年度採用
富山河川国道事務所 道路管理第一課 事務官
私は学生の頃から、人の役に立ちたい、社会に貢献したいという思いがあり、多種多様な職業を調べた中で、その思いを最も活かせるのは公務員だと感じました。官公庁説明会で先輩職員の話や、この仕事へのやりがいや職場の雰囲気、地域への貢献など魅力的な点が多く北陸地方整備局を選びました！

技術 令和3年度採用
敦賀港湾事務所 保全課 技官
高校生の時に参加した現場見学会がきっかけです。見学会の際に道路の応急復旧に関する工事や港湾の利用状況などを実際に見て、自分も国を支えるためのインフラ整備に関わりたと思い、北陸地方整備局への入省を決意しました。

技術 令和5年度採用
新潟国道事務所 工務第一課 技官
地元新潟市の大動脈である新潟バイパスの渋滞を幼い頃から目撃しており、それを自分の手で解決し地域貢献をしたいという思いがあったため、北陸地方整備局への入省を決意しました。

事務 令和4年度採用
総務部 港湾空港総室 事務官
幼い頃から海に近い地域で生まれ育ったため、港湾行政に関われるような職業に就きたいと思っていたのが入省理由の1つです。また、旧運輸省の繋がりで北陸勤務でありながら私の地元である東北の出身者とも関わる機会があると説明されたのも魅力的だと感じました！

Q 就職してからの楽しかったこと(公私問わず)

技術 令和3年度採用
阿賀川河川事務所 工務課 技官
仕事終わりに、事務所の先輩や同期、後輩とごはんに行ったり、わいわいするのがとても楽しいです！皆さんとてもフレンドリーなので、すぐに馴染むことができ、仕事もプライベートも充実しています！

事務 令和7年度採用
信濃川下流河川事務所 占用調整課 事務官
事務所と受注業者の若手職員で構成する「関屋モリ上げ隊」の活動で、現場見学を行ったり、地域の方と関わる機会を持ったりすることができることです。スポーツ選手と一緒に小学生対象の出前講座を行うイベントにも参加しました！

技術 令和7年度採用
営繕部 計画課 技官
北陸全体の官庁施設の整備を所管しているため、工事や建物調査で色々なところに行けます。営繕部が関わった新築の裁判所を見学した際には、裁判所独自のデザインや国が進めている木材活用の実例を実際に見て学ぶことが出来ました。また休暇も取りやすいため、仕事とプライベートのメリハリをつけて生活できています。

技術 令和6年度採用
企画部 施工企画課 技官
休暇を使って同僚とウィンタースポーツに出かけるなど、休みもリフレッシュしながら楽しめています。業務ではドローンなど最新技術に触れる機会が多く、実際に体験しながら学べるのが大きな刺激になっています。

Q 入省後に感じたギャップ

事務 令和4年度採用
金沢港湾・空港整備事務所 総務課 事務官
休暇の取りやすさです。基本的に自分のペースで業務を進められるため休暇取得の計画が立てやすく、今年はライブや旅行で北海道や福岡、大阪などに行くことができました。GWや飛び石連休等では休暇を利用して長期連休にできるため、リフレッシュしやすい職場だと感じています。

事務 令和4年度採用
防災部 災害対策マネジメント室 事務官
事務官なので、入省前はデスクワークのイメージを強く持っていました。しかし、入省後は事務・技術問わず現場に足を運ぶ機会があり、国土交通省の大規模な事業を間近で体感することができて楽しいです！

技術 令和7年度採用
立山砂防事務所 水谷出張所 技官
研修を経て実務を行っていくというより、実務に取り組みながら学んでいくという感じで、1年目から担当仕事を持つことが出来るのは意外でした。そのため、わからないことだらけで最初は心配でしたが、事務所内の風通しが良く、先輩職員に気軽に相談できました。

技術 令和7年度採用
高田河川国道事務所 調査第二課 技官
最初は公務員ということもあり堅いイメージでしたが、実際働いてみると、優しい方が多く、プライベートのお話や相談などがしやすい雰囲気です。時には笑いが起こるような職場でした。しかし、集中するときは集中といった感じでメリハリも必要です。

Q これまで仕事をしてきてやりがいを感じた瞬間

技術 令和6年度採用
港湾空港部 港湾計画課 技官
私は入省1年目の頃に技術審査の業務に携わっていました。社会人1年目であるにもかかわらず、部長や副局長の前で説明をさせて頂いたときは緊張しましたが、非常に貴重な良い経験となり、事業を動かす一員として働いていることに大きなやりがいを感じました。

技術 平成28年度採用
国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部 砂防計画課 技官
私は現在、国土交通省(本省)へ出向しています。北陸地方整備局の若手職員を代表して本省で働いていること、地方で積んだ経験を活かしつつ省全体の政策に携わっていることに誇りとやりがいを感じています！キャリア目標の一つにしてみてくださいはいかがでしょうか？

事務 令和元年度採用
新潟港湾空港技術調査事務所 総務課 事務官
私は現在契約の事業に携わっており、主に北陸地域の港の工事の設計等の契約を行っています。契約までの公告作成、契約後の事業者との細かなやりとり等、様々な作業があり大変ですが、契約が無事締結した時は国のための事業の一部に自分が関わることが出来たとやりがいを感じました。

技術 令和4年度採用
能登復興事務所 計画課 技官
道路事業の開通イベントにスタッフとして携わった際、地域の方々から感謝の言葉をいただき、大きなやりがいを感じました。その経験を通して、自分の仕事が人の役に立っていることを実感しました。

Q 公務員を目指す皆さんへアドバイス

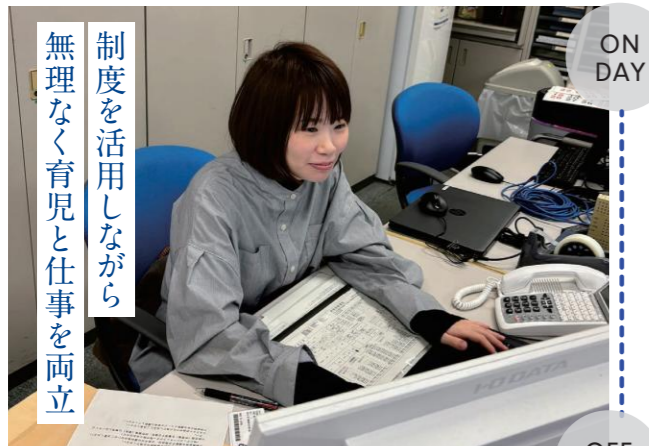
技術 令和7年度採用
さくりがわ 三国川ダム管理所 技官
勉強はもちろん大切ですが、息抜きも同じくらい大切です。気を張り詰めて勉強しすぎるのもよくないと思うので、自分の趣味や友達と遊ぶ時間も作ると思います。僕はカラオケがおすすめです！

事務 令和3年度採用
能登復興事務所 総務課 事務官
祖父から「若い時の苦労は買ってでもせよ」と教えられてきました。試験勉強は孤独な時間が続きつらいと思いますが、今の苦労が必ず報われます。そして入省してからは、大規模な仕事に携わることができ、大きなやりがいを感じることができます。入省後の自分を思い描き、今を頑張ってください。一緒に働くことを楽しみにしています。

技術 令和3年度採用
信濃川下流河川事務所 工務課 技官
実際に働いてみて、公務員の仕事は一人で完結するものではなく、たくさんの人と協力しながら進めていく仕事だと感じています。公務員を目指す皆さんには「人と関わる力」を大切にしてほしいです。

技術 令和3年度採用
伏木富山港湾事務所 新湊出張所 技官
試験勉強で基礎的な教養と専門知識を高めることはもちろん、面接ではコミュニケーション能力が重要です。人と話す練習を重ね、自分の考えを自然に伝えられるよう準備しましょう。挑戦する気持ちを忘れずに臨んでください。

■ オンもオフも自分らしく！ワーク・ライフ・バランス



ON DAY

無理なく育児と仕事を両立
制度を活用しながら

OFF DAY



ON DAY

かけがえのない時間
育児休業でみつけた、

OFF DAY

事務 平成24年度採用
総務部 厚生課 事務官

担当業務
職員の福利厚生に関する業務

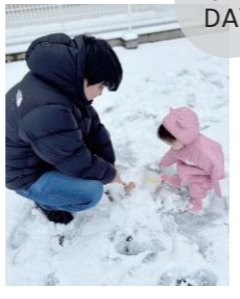
育児休業取得年
令和4年度～令和5年度に育児休業を取得
令和6年度に育児休業を取得



技術 平成27年度採用
富山河川国道事務所 流域治水課 流域治水係長

担当業務
河川の改修事業に関する調査・計画

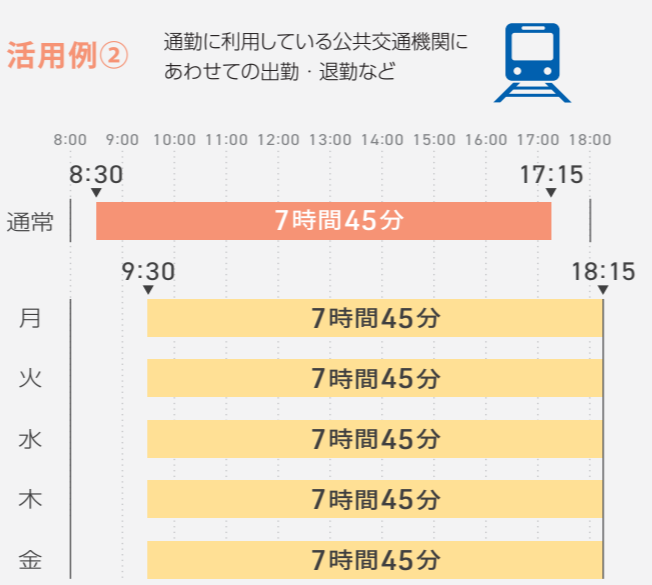
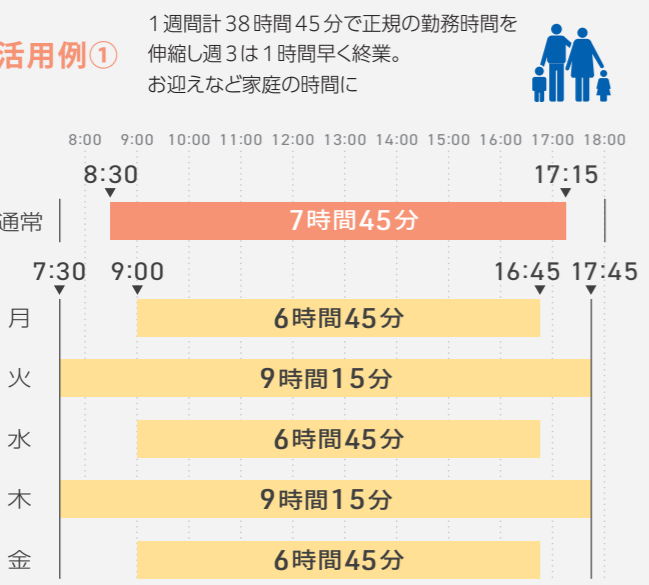
育児休業取得年
令和7年度に育児休業を取得



「妻の負担を少しでも減らしたい」そんな思いから、5ヶ月間の育児休業を取得しました。育児休業中は、子どもの初めての寝返りや笑った顔など、貴重な成長の瞬間をリアルタイムで感じることができ、かけがえのない時間となりました。育児に加えて家事にも積極的に取り組み、大変なこともありましたが、その経験が家族との絆をより深めてくれたと実感しています。職場に戻ってからは、上司や同僚の温かいサポートのおかげで自然に仕事に馴染むことができました。妻を支えていたつもりが、気づけば妻に支えられ、少しでも早く帰宅して家族の顔を見るために、「きときと」な気持ちで仕事に取り組んでいます。

フレックスタイム制

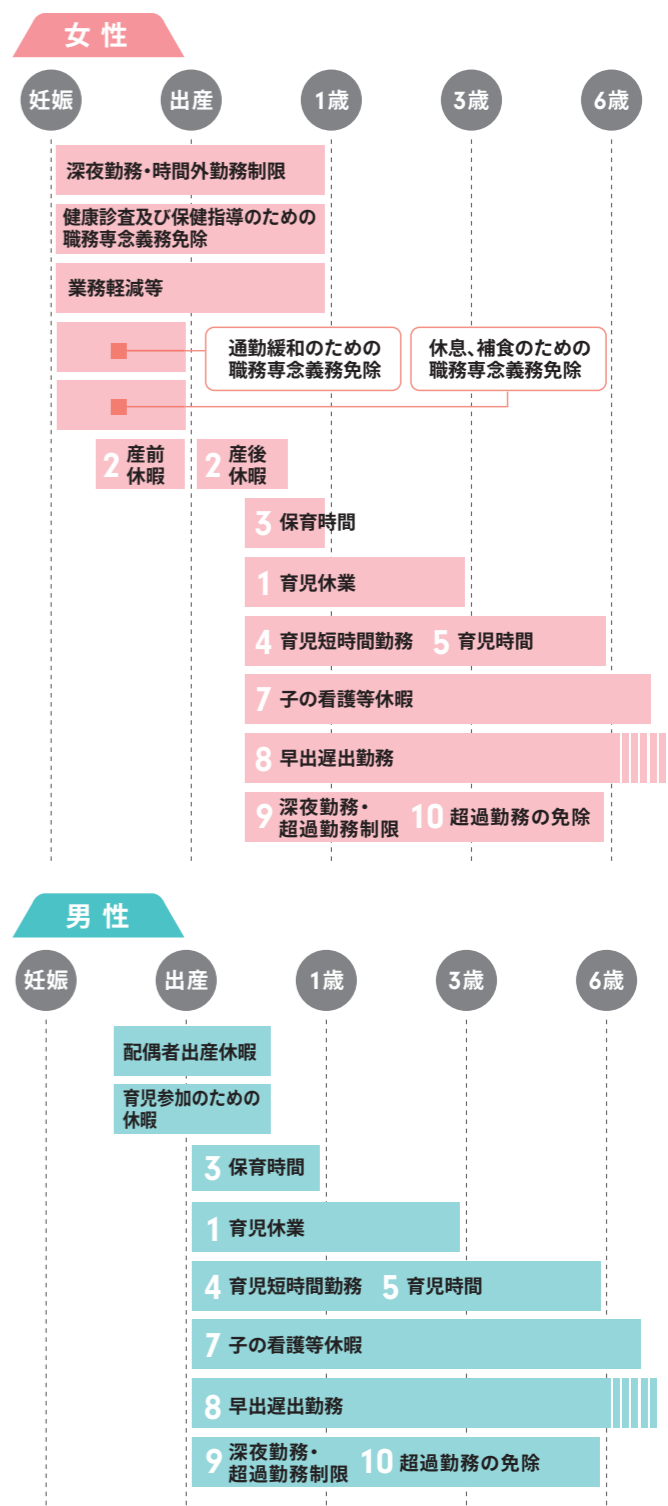
4週間を単位とした期間の中で合計155時間となるように、1日の正規の勤務時間を伸び縮みさせることができる制度です。



利用できる制度

- 育児休業**
3歳未満の子どもを養育する場合
▶配偶者の就業等の状況にかかわらず取得可能
- 産前・産後休暇**
出産する場合
▶産前6週間、産後8週間（多胎妊娠の場合は産前14週間）
- 保育時間**
生後1年未満の子どもを養育する場合
▶子が1歳に達するまで
- 育児短時間勤務**
小学校就学前の子どもを養育する場合
▶勤務時間を短縮
- 育児時間**
小学校就学前の子どもを養育する場合
▶1日につき2時間まで又は1年につき10日相当の時間まで勤務しないことが可能
- 介護時間**
父母等を介護する場合
▶連続する3年の期間内で1日の勤務時間の一部（2時間まで）を勤務しないことが可能
- 子の看護等休暇**
小学校3年生までの子どもを看護する場合等
▶年5日（小学校3年生までの子どもが2人以上の場合は年10日）
- 早出遅出勤務**
小学校就学前の子どもを養育、放課後児童クラブ等に通う小学生の子どもを送り迎え、又は父母等を介護する場合
▶始業・終業時間の繰り上げ又は繰り下げて勤務
- 深夜勤務・超過勤務制限**
小学校就学前の子どもを養育又は父母等を介護する場合
- 超過勤務の免除**
小学校就学前の子どもを養育又は父母等を介護する場合
- 介護休暇**
配偶者、父母、子、祖父母、孫、兄弟姉妹等を介護する場合
▶6ヶ月の期間内で必要と認められる期間
- 短期介護休暇**
配偶者、父母、子、祖父母、孫、兄弟姉妹等の介護等を行う場合
▶年5日（対象となる要介護者が2人以上の場合は年10日）
- 配偶者同行休業**
外国で勤務等をする配偶者と外国において生活を共にする場合
▶3年を超えない範囲

利用できる期間（妊娠から就学まで）



キャリアサポート研修

育児・介護等の理由により合宿研修受講が困難な職員（係員から課長級の全職員）を対象にワークライフバランスなど仕事と家庭の両立を改めて考える機会を提供する研修を実施しています。

■ 人材育成

幅広い知識やスキルを身につけるために、日々の業務に必要な知識を身につけるOJTの取組の推進や、日々の業務を離れた研修等で必要な知識を身につけるOff-JTを推進しています。

On the Job Training

日常の業務を通じた経験の中で必要な知識・技術を身につける

OJT



Off the Job Training

充実した各分野の研修でスキルアップを支援

Off-JT

主な研修の流れ

- 共通研修
- 技術系研修
- 事務系研修

入省1年目

- 新規採用職員
- 雪寒研修
- 新規採用職員(技術)
- 新規採用職員(事務)

共通分野 (事務・技術別)

- 国土交通行政(初級)
- 基礎技術
- インフラDX(i-Con)
- 会計・契約
- 総務

専門分野

- | | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 用地 ■ 河川 ■ 港湾 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 用地事務 ■ 河川行政 ■ 砂防技術 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 道路 ■ 道路行政 ■ 道路構造物管理実務者(橋梁、トンネル) ■ 舗装技術 ■ みなとまちづくり実務 ■ 国際港湾 ■ 港湾におけるインフラDX ■ 空港施設調査・設計 |
|--|--|--|

係長へ
スキル
アップ

これ以外にも、
機械関係や
電気関係の研修等も
実施しています。



■ キャリアステップ

入省後、どのようなキャリアを歩んでいくのか？
皆さんの目指すべき先輩の姿がここにあります。

係長

「北陸を良くしたい！」北陸の道路づくり、主役は「あなた」です。」



これまでのキャリアの中で
印象深かった勤務地や出来事

Career | 令和元年度
新潟国道事務所 計画課 企画係長

令和元年から企画係長を務めた3年間で栗ノ木道路や吉田バイパスをはじめ、9事業(のべ回数は多くて数えられません)の説明会を実施し、地域の皆様へ事業の進め方や整備効果、道路設計等をご説明しました。専門用語をなるべく使わない分かりやすい説明や、ご質問に対するスムーズな回答などを心掛けて得られた成長、また、地域の皆様にご理解いただき応援していただけたことが大きな財産となりました。

技術 | 平成18年度採用

道路部 道路計画課
計画第一係長

- 平成18年 ● 北陸地方整備局 入局 (金沢河川国道事務所 工務第二課) 係員
- 平成20年 ● 新潟国道事務所 計画課 係員
- 平成22年 ● 道路部 道路工事課 係員
- 平成23年 ● 道路部 道路計画課 係員
- 平成26年 ● 長岡国道事務所 湯沢維持出張所(現:湯沢維持・雪寒対策出張所) 管理係長
- 平成28年 ● 高田河川国道事務所 工務第二課 工務係長
- 平成30年 ● 新潟国道事務所 工務第一課 工務係長
- 令和元年 ● 新潟国道事務所 計画課 企画係長
- 令和4年 ● 企画課 企画第一係長
- 令和5年 ● 道路部 道路計画課 計画第一係長

課長

「国土交通省の多様な業務に携われることにやりがいを感じます。」



これまでのキャリアの中で
印象深かった勤務地や出来事

Career | 平成27年度
建設部 都市・住宅整備課 建築業務係長

建設部 都市・住宅整備課の建築士の監督、登録機関の指導監督等の住宅・建築関係業務で、国土交通省の業務がとて多岐にわたっていることを実感し、また、公共性と専門性のある業務に直接携わったことで、さらにやりがいを感じるようになりました。

事務 | 平成11年度採用

松本砂防事務所 総務課
課長

- 平成11年 ● 北陸地方建設局(現:北陸地方整備局) 総務課 入局
- 平成14年 ● 千曲川河川事務所 経理課 係員
- 平成17年 ● 長岡国道事務所 総務課 係員
- 平成18年 ● 金沢河川国道事務所 総務課 係員
- 平成19年 ● 金沢河川国道事務所 道路管理第一課 係員
- 平成20年 ● 松本砂防事務所 姫川出張所 事務係長
- 平成23年 ● 千曲川河川事務所 経理課 契約係長
- 平成27年 ● 建設部 都市・住宅整備課 建築業務係長
- 平成29年 ● 建設部 計画・建設産業課 賃貸住宅管理業務係長
- 令和2年 ● 総務部 会計課 審査第二係長
- 令和3年 ● 総務部 会計課 決算係長
- 令和5年 ● 金沢河川国道事務所 専門調査官
- 令和7年 ● 松本砂防事務所 課長

所長

「激甚化・頻発化する自然災害に立ち向かう大規模なプロジェクトに携わりませんか。」



これまでのキャリアの中で
印象深かった勤務地や出来事

Career | 令和元年度
河川部河川計画課 課長補佐

令和元年の大水害の際、関係各機関と「ワンチーム」となり、復旧・復興策に携わった際、大規模プロジェクトを形にしていく過程は大変でしたが、その分大きなやりがいがあり、この経験を通じて成長できたと思っています。現在は、当時立案したプロジェクトを事務所でも担当していますが、工事の一つひとつが地域の安全につながっていることを実感できるほか、感謝の言葉をいただく場面もあり、地域の未来を支えているという誇りと達成感につながっています。

技術 | 平成6年度採用

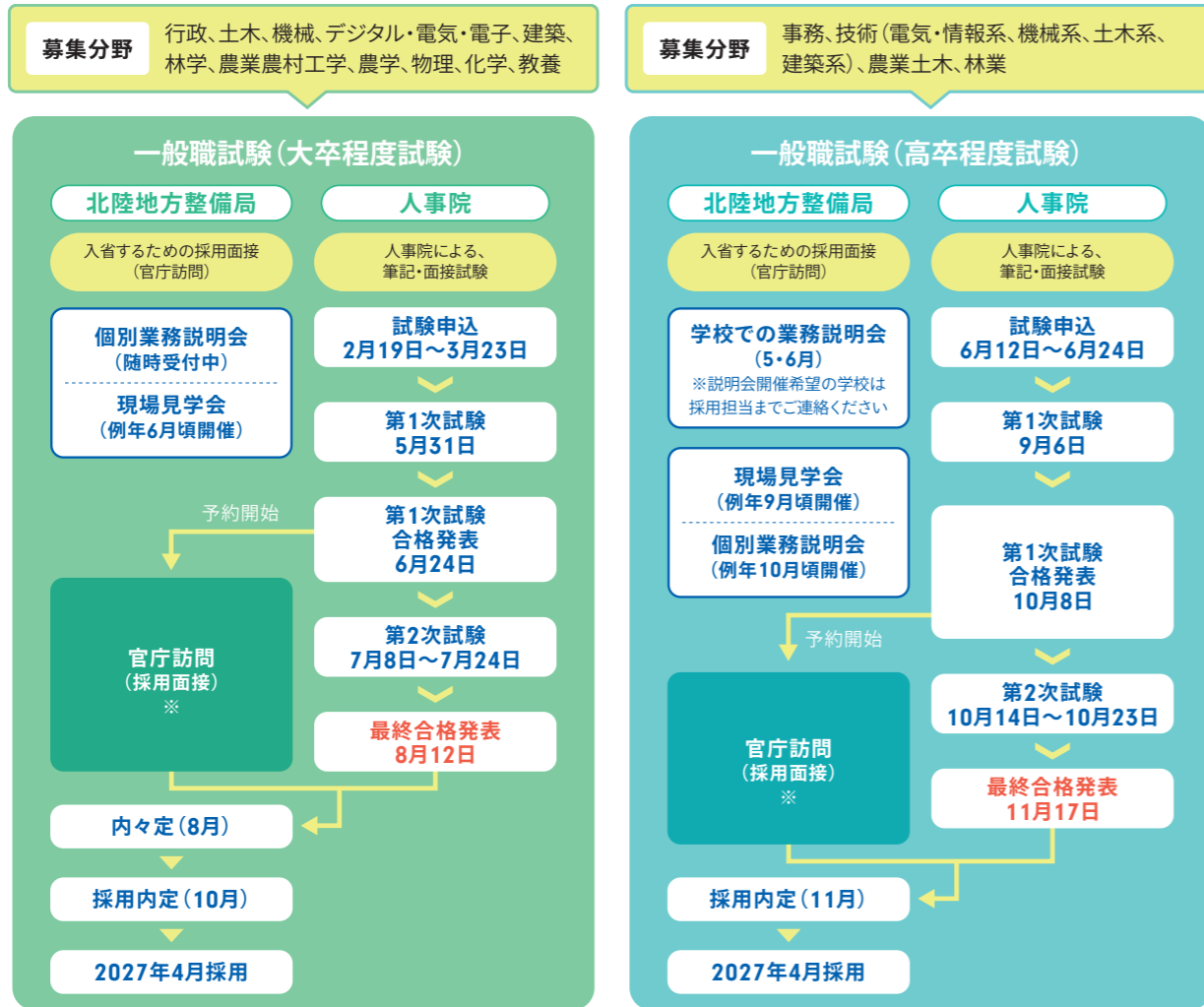
千曲川河川事務所
所長

- 平成6年 ● 北陸地方建設局(現:北陸地方整備局) 入局
- 平成8年 ● 阿賀川河川事務所 工務課 係員
- 平成10年 ● 信濃川下流河川事務所 調査設計課 係員
- 平成13年 ● 河川部 河川工事課 係員
- 平成16年 ● 阿賀川河川事務所 工務課 調査係長
- 平成20年 ● 信濃川河川事務所 計画課 企画係長
- 平成22年 ● 河川計画課 専門員
- 平成24年 ● 国土交通省 水管理・国土保全局 治水課 維持修繕係長
- 平成27年 ● 阿賀野川河川事務所 調査課 課長
- 平成30年 ● 河川計画課 課長補佐
- 令和4年 ● 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 流水管理室 課長補佐
- 令和6年 ● 千曲川河川事務所 所長

■ 入省について

北陸地方整備局の職員になるためには、人事院が行う国家公務員一般職採用試験に合格することが第一歩になります。まずは、人事院のHPから国家公務員一般職試験のインターネット申込みをしてください。試験は無料です。北陸地方整備局では、官庁訪問(採用面接)の前に説明会や現場見学会を開催するので、ぜひお越しください。

● 2026年度の採用スケジュール



※官庁訪問時期については2025年度スケジュールから想定したものになります。第2次試験期間中に官庁訪問は開催しません。官庁訪問期間等の詳細については、HPやSNS等で別途周知予定です。

● 官庁訪問とは?

受験者が志望する省庁を訪問し、業務説明や面接などを受けるもので、採用に繋げていくための重要なステップ(採用選考活動)です。

● 近年の採用状況 ()内書きは女性数

大卒	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
行政	8(2)	19(5)	15(4)	15(7)	8(3)	13(4)	8(5)
土木	17(3)	11(1)	13(3)	9(1)	9(4)	10(3)	10(2)
農業農村工学	1(0)	0	0	0	0	0	0
農学	0	0	1(0)	0	1(0)	0	0
林学	0	0	0	1(0)	3(0)	0	1(0)
機械	2(0)	0	1(0)	1(0)	3(0)	1(0)	0
デジタル・電気・電子	1(0)	1(0)	0	3(0)	0	1(0)	0
建築	1(0)	1(1)	3(1)	0	1(0)	1(1)	1(1)
物理	2(0)	0	0	0	1(0)	0	0
化学	0	0	1(0)	2(2)	1(0)	1(0)	0
教養	—	—	—	—	—	—	0
計	32(5)	32(7)	34(8)	31(10)	27(7)	27(8)	20(8)

高卒・社会人(係員級)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
行政事務	14(5)	11(6)	15(11)	23(11)	17(7)	12(4)	16(4)
技術	13(4)	23(3)	16(4)	18(5)	12(1)	12(2)	13(2)
農業土木	2(0)	0	3(1)	2(0)	2(0)	5(1)	1(0)
林業	0	0	0	0	0	0	0
計	29(9)	34(9)	34(16)	43(16)	31(8)	29(7)	30(6)

インターンシップ

北陸地方整備局では、大学等に在籍する技術系(土木、建築、電気、機械等)の学生を対象として、学生の夏期実習(インターンシップ)を毎年受け入れています。河川・道路・港湾/空港・建築分野など、ご希望に合わせた実習先で、国ならではの規模ある事業に携わりながら様々な業務を体験できます!(例年5月初旬～6月初旬に募集。開催日程・実習内容については決まり次第、HPやSNS等でお知らせします。)



トンネル工事見学



ダム湖点検



座学

業務説明会

北陸地方整備局では、個別業務説明会や庁舎見学など、様々な説明会を実施しています。個別業務説明会では、皆様のご希望の日時や方法(対面・Web)に合わせて柔軟に対応可能です。どんな質問にも全力でお答えしますので、興味のある方はお気軽にご参加ください。



災害対策室の見学



個別業務説明会



申し込み
フォーム
(随時受付中)

現場見学会

国土交通省の大規模な事業を体感できる現場見学会を開催します。事業の説明はもちろん、仕事のやりがいや面白さについてもお伝えします。普段は見ることのできない、国の迫力ある現場を間近でご覧いただける絶好の機会です!(開催日程が決まり次第、HPやSNS等でお知らせします。)



道路事業の見学



ダム事業の見学



若手職員との座談会

ココが知りたい!

北陸地方整備局

Q&A

みなさんから問合わせの多い質問をピックアップしました。
勤務条件や職場環境などについてお答えします。

Q. 勤務時間について教えてください

A. 勤務時間は平日【8:30～17:15】です。柔軟な働き方を推進しており、フレックス勤務やテレワーク勤務を活用することも可能です。(フレックス勤務についてはp27参照)

Q. 休暇について教えてください

A. 年次有給休暇は年間で20日付与されます。未使用分は翌年に20日まで繰越可能で、最大40日まで保有できます。15分単位で取得可能なので、自由度の高い働き方が実現できます。さらに夏季休暇や、結婚、忌引き等で使える特別休暇、病気休暇、介護休暇などがあり、自由にとることができます。

Q. 給料を教えてください

A.

一般職(大卒程度)	一般職(高卒程度)
232,000円	200,300円

このほか、通勤手当、超過勤務手当、地域手当等が支給されます。ボーナス(賞与)も年2回【合計約4.65ヶ月分】支給され、年1回の昇給もあります。(2026.2現在)

Q. 残業や休日出勤はありますか?

A. 残業の有無やその頻度は部署によって異なるので一概にはいえません。また、災害対応や、各種イベントなどで土・日出勤や休日出勤となる場合もあります。そのようなときは振替休日などの制度を利用することができます。



▲ 防災イベント時の様子



▲ 災害対応時の様子

Q. 勤務地はどのように決まりますか?

A. 勤務地は希望や事情が考慮されて決まります。異動を不安に思う方は多いかもしれませんが、北陸地方の各地で新しい出会い、貴重な経験ができますし、周りの職員もしっかりフォローしてくれるので安心してください。

Q. 異動の頻度は?

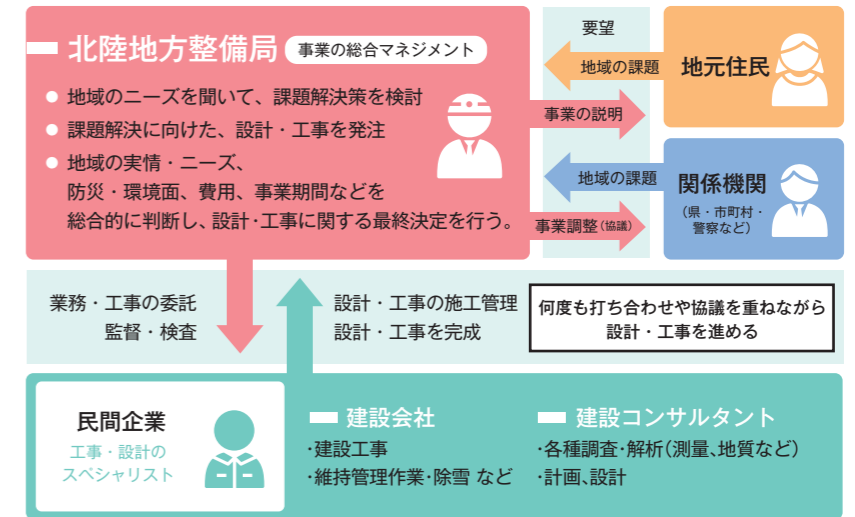
A. 異動の頻度は概ね2～3年に1回程度です。ただし、例えば同一事務所内で配属課が変わる場合や、現在住んでいるところから通勤可能な近隣の職場へ異動する場合もあるため、すべての異動が転居を伴うものではありません。

Q. 地方自治体との違いはなんですか?

A. 整備局は、市町村や県のようにひとつの地域に留まらず、複数の県にまたがる広域的で、大規模な、専門性の高い事業を行っています。また、整備局は地方自治体に対して地域づくり、まちづくりへの指導・助成や災害時の支援なども行っています。

Q. 民間企業との違いはなんですか?

A. 民間企業は企業に合った業務相手を選び、会社の利益を追求しながら社会貢献するのに対し、国家公務員は「国民全体」を相手に、公共の利益を追求しながら社会貢献しています。また、民間企業が設計や施工など「特定の分野」に特化するのに対し、公務員はインフラ整備の「すべてのプロセス」に関わります。業務範囲も積算や工事監督、完成後の維持管理に至るまで、インフラ整備をトータルで管理する広い視野が求められます。



Q. 大学で土木を専攻していなかったのに入省後が不安です…

A. 土木以外を専攻した先輩も多数活躍しています。仕事をする中で専門分野以外の新たな知識の習得も必要となりますが、経験豊富な先輩が支えてくれたり、研修制度も充実しているので心配ありません。

Q. 職場はどのような雰囲気ですか?

A. 入省前は公務員にお堅いイメージを持っていたけれど、明るく、活気のある職場にギャップを感じたという職員も多いです。職場内の風通しもよく、なんでも相談しやすい雰囲気なので1人で仕事に悩むことはありません。職員同士の協力体制が整っているので、安心して働くことができます。

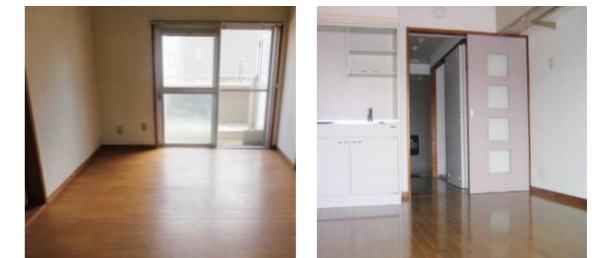
Q. 職場での服装を教えてください

A. 男性の場合はスーツ、女性の場合はオフィスカジュアルの方が多く印象です。服装についての規定はないので、それぞれ自分の働きやすい服装で仕事をしています。



Q. 宿舎はありますか?

A. 各地に独身用宿舎や、家族で住める世帯用宿舎があり、駐車場も用意されています。宿舎に住まず、民間の賃貸住宅を借りる場合にも、家賃に応じた住居手当が支給されます。



▲ 世帯用宿舎(内部)

▲ 独身用宿舎(内部)

Q. 通勤方法について教えてください

A. 徒歩、自転車、自家用車、公共交通機関等、様々です。公共交通機関や自動車等を利用している場合は、通勤手当が支給されます。(支給要件あり)

掲載されている職員の役職等は2025年度時点のものです

採用に関するお問い合わせ



国土交通省 北陸地方整備局

[事務系]

(河川・道路等部門) 人事課 管理係

(港湾空港部門) 港湾空港総室 人事係

[技術系]

(河川・道路等部門) 企画課 企画第一係

(港湾空港部門) 港湾事業企画課 企画調整係

Address: 〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1

Tel: 025-280-8880(代表)

E-mail: saiyou@hrr.mlit.go.jp

「美咲合同庁舎」バス停下車、
または「出来島変電所」バス停下車、約400m



北陸地方整備局HP▶



採用HP▶



X▶
(北陸地方整備局公式)



X▶
(採用担当)

